



山西小学校便り

山西っ子

《なかよく・かしこく・たくましく》



先月行われた郡市科学展の特選・入選等の作品を理科室前に掲示しています。

令和2年11月16日(月) no.33 文責：上田

顔だけでなく「気持ち」も隠れていませんか？

新型コロナウイルス感染防止のため「新しい生活様式」として、マスクの着用が当たり前となっています。マスクの効果については、『山西っ子 (no31)』でも紹介しました。もちろん、手指消毒などの他の対策と合わせて行うことが大切です。

さて、そんな「新しい生活様式」の中で、マスクの着用で困ることがあります。その一つが、コミュニケーションの取りにくさを感じることです。私たちは互いの顔の表情から様々な感情を読み取っていますが、マスクで鼻や口を覆ってしまうことで、相手の感情が読みにくくなっていますし、自分自身もマスクで表情が抑圧されたようにも感じます。赤ちゃんは、親との愛情形成の過程で親の顔の表情から「うれしい」「悲しい」などの感情とともに共感することを学ぶとも言われます。

マスクで顔だけでなく「気持ち」も隠れていないかと心配です。授業中の教室に入ると、子どもたちも苦勞しているだろうなあと思うことが度々あります。以前は、先生の問いかけに顔の表情も含めて応えていたように思いますが、マスクで声がこもって低くなり、立って発表しなければ誰が応えたのか分からなくなります。休み時間の友達とのちょっとしたトラブルもマスク越しだと、「ごめんね」の言葉もどこかうわの空にも聞こえ誤解されそうです。

対策としては、身振り手振りを入れたジェスチャーも効果があるでしょうが、まずはこれまで以上に声のトーンを高め、一語一語を丁寧に話すことかもしれません。「気持ち」が隠れていないか、子どもたちに、ぜひ問いかけてみてください。私自身、朝の登校指導で子どもたちとあいさつを交わしますが、一人一人の子のあいさつにできるだけ応えようと声掛けするようになったのも新型コロナの流行によるところも大きいと思います。

多くの方に参加いただきました 13日：学校公開

13日(金)に授業参観を行いました。家庭から多くの皆さんに来ていただきありがとうございました。子どもたちの様子をどうお感じになりましたか。

さて、今回、学校公開に合わせて、栗原泉(翻訳家、モデル栗原類さんの母親)さんの『ブレない子育て～発達障がいとともに生きる～』(熊本県・熊本市主催 WEB講演)を4校時:図書室で開催しました。栗原さんが語られる「自尊心」「機会の平等」など、子どもを認めることの大切さについて考えるよい機会になりました。

